

2020年2月28日

報道関係者各位

株式会社ツムラ

## 社会との共通価値創造 30年の成果

～ 生薬生産農家 380 戸に、協働の森づくり事業には中学生延べ約 950 名が参加 ～

株式会社ツムラ（本社：東京、社長：加藤照和、以下「当社」）が高知県の生産者とともに取り組む生薬栽培および栽培技術の開発、農業コミュニティの活性活動が 30 年を迎えました。原料調達の本数を超えた 30 年間にわたる地域社会との共通価値創造の成果についてお知らせします。

### <栽培技術の共同開発 生薬栽培は高齢者の生きがいにも>

漢方製剤の原料となる生薬の国内での栽培化を進めるため、当社は、高知県越知町の農業組合法人ヒューマンライフ土佐（以下「ヒューマンライフ」）とともに、1990 年から高知での生薬栽培技術の開発の取り組みをスタートしました。

根の部分が生薬となる「柴胡<sup>さいこ</sup>」は、茎丈が高く、成長すると倒伏が起きやすいという課題がありました。試行錯誤を経てヒューマンライフが開発したのは、茎の上部を切り取る「摘芯<sup>てきしん</sup>」を取り入れることです。適切な摘芯により、高さを抑えながらしっかりとした茎の生育を促すことで倒伏を防ぐと同時に、根を肥大化させることが可能になりました。この技術は現在、当社の他の契約栽培地にも展開しています。



ヒューマンライフ土佐の皆さん、柴胡の畑にて

また柴胡<sup>さいこ</sup>は、収穫・加工の時期が冬であり他の作物の農閑期に行えること、比較的軽量で扱いやすいこと、日本薬局方およびツムラ GACP（※）の基準を満たせば当社が全量買い取りを行うため価格が安定していることなどから生産者数が拡大、ヒューマンライフを中心とした農業コミュニティの活性化にも貢献しています。ヒューマンライフの山中代表理事は「人々の健康に役立つ生薬を栽培、出荷し、安定収入にもなる。また高齢者の方々には生薬栽培が生きがいのひとつにもなっています」と話しています。

ヒューマンライフで生産される生薬は、柴胡<sup>さいこ</sup>のほか、山椒<sup>さんしょう</sup>、枳実<sup>きじつ</sup>などがあります。ヒューマンライフによる遊休農地活用の推進と、加工・検品等の集約生産の成果もあり、1985 年、5 名で始めた生薬栽培は 2019 年には生産農家は 380 戸となっています。

※ツムラ GACP (Good Agricultural and Collection Practice) : 「ツムラ生薬 GACP ガイドライン」「生薬生産標準書」「生薬トレーサビリティ」「教育・監査・認証」で構成される、生薬生産管理に関する基準。

当社は、原料となる生薬の品質や安全性を保証するため、植え付け、農薬・肥料の使用、収穫、加工までをカバーする生産標準と、生薬生産工程ごとの詳細なチェックリストを規定し、それらの遵守・運用ができる生産団体からのみ生薬を調達しています。

### <2008 年から取り組む「協働の森づくり事業」 環境保全と次世代育成へ>

当社とヒューマンライフは、高知県と自治体が企業と協働して森林（人工林）の再生を進める「協働の森づくり事業」にも参画しています。

「森を守ることは水を守ることにつながる」という考えのもと、森林整備による水資源の保全に取り組むと同時に、越知中学校の生徒を対象とした環境学習、薬草採取体験、越知町と漢方薬について学ぶ総合学習を行い、地域活性や環境保全への意識の高い人材の育成への貢献を目指しています。参加した生徒はこれまでに延べ 946 人となり、今年 1 月 29 日にツムラ本社で行われた発表会では、「地元の良いさを再認識した」「美しい自然を守り、伝えていきたい」などの声が聞かれました。

2008 年からスタートしたこの取り組みは、2020 年 3 月で 4 期 12 年を終え、4 月 7 日（火）高知県庁にて 15 年目を目指した第 5 期のパートナーズ協定（高知県、越知町、ヒューマンライフ土佐、ツムラの 4 者による協定）の調印式を行う予定です。



薬草採取体験の様子／2019 年 10 月撮影

### <ヒューマンライフ土佐設立 30 周年記念式典にて>



山中代表理事（写真中央）とヒューマンライフ土佐の皆さま

薬用作物の生産拡大と地域農業の発展、総合学習を通じて次の世代に取り組みが引き継がれることに、さらなる期待を寄せられました。

2 月 13 日（木）高知市内で開催されたヒューマンライフ土佐の設立 30 周年記念式典では、行政、生産者、越知中学校長をはじめ約 100 名が出席し、これまでの 30 年の歩みを振り返るとともに交流を深めました。濱田高知県知事からいただいた祝辞では、ヒューマンライフ土佐の取り組みが昨年度農林水産省の「ディスカバー農山漁村の宝」として評価・選定されたことにも触れ、

当社は、今年 30 年を迎えた高知県での取り組みのほか、当社の子会社である夕張ツムラ（2009 年 7 月設立／北海道夕張市）、ラオツムラ（2010 年 2 月設立／ラオス）においても、事業を通じた雇用機会の創出、地域活性、環境保全などに取り組んでおります。

これからも、地域社会との連携のもと、病気治療・健康への貢献、漢方のイノベーション（技術革新）、環境・水資源の保全等、社会との共通価値創造に尽力していきます。



毎年行う地域の子どもたちとの植樹とレクリエーション／2018 年 6 月撮影／ラオス

■関連 URL

【高知県HP】 環境先進企業との協働の森づくり事業

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

【ツムラ HP】 ヒューマンライフ土佐における取り組み

[https://www.tsumura.co.jp/kampo/hitokara/cultivation/story\\_01/](https://www.tsumura.co.jp/kampo/hitokara/cultivation/story_01/)

【プレスリリース】 2019 年度ツムラ収穫祭 開催 （夕張ツムラ）

<https://www.tsumura.co.jp/corporate/release/pdf/20191210.pdf>

【ツムラ HP】 ツムラ CSR 漢方・生薬事業を通じた「社会との共通価値創造」

<https://www.tsumura.co.jp/corporate/csr/feature03/>

---

問い合わせ先 : 株式会社ツムラ  
コーポレート・コミュニケーション室 広報グループ（瀬戸、高橋）  
Tel 03-6361-7100 Fax 03-5574-6630